

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念の唱和を継続しつつ、理念の内容の理解を深めるよう努めている。職員の体制変更により運営理念の実践の再現性、持続性には課題がある。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスが5類相当に分類わけされてから、地域に出る機会は増えてきている。また、甲府市主催のイベント等へ認知症の理解を深めてもらうため、参加をしているが地域限定での継続的な取り組みは出ていない。	甲府市主催以外のラントモなどのイベントに参加している様子あり。増坪地区の防災や春光園との研修会の企画に参加している。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様から頂いたご意見の反映に努めている。また、関係者からのアドバイス等頂くことでサービス向上となるよう努めている。	家族の意向を取り入れたレクやイベントについて報告。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事案発生時等に甲府市の担当者と連絡を取り合いながら、事業所の運営に努めている。	事業所の管理者は入居する高齢者の権利について不安がある際には相談等行っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修の開催や、セルフチェックによる防止策の会議を行っている。また、日頃から、言葉遣いや細かい対応を含めて、管理者は指導するよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営基準などを理解した研修や虐待・身体拘束を予防する研修を受けている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様、定期的な研修の開催にて、虐待防止法に対する理解を深める機会を作っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営基準などを理解した研修や虐待・身体拘束を予防する研修を受けている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本社の研修資料をもとに、権利擁護とは何かを理解する機会を作り、会議等で話し合いを行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用契約時、理解しやすい言葉で説明するように努めている。また、契約締結後であっても、不明点があれば、都度、お答えできるようにしている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的に介護サービス相談員がホームに来て聞き取り等行っている。また、ご家族からの要望は朝礼時や会議時に共有し改善できるように努めている。感染症に対する緩和が進み、対応できることも増えている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	意見が抽出しやすいように、アンケートを毎回実施し報告している。相談、意見をしやすい環境なんだと感じています。ご家族の意見をできるだけ取り入れという様子も伺えます。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常的に、職員と意見交換をする時間を作っている。また、その内容はユニットリーダーにも共有し、介護現場での実践にもつなげるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を活用し定期的に評価を受ける機会を設けている。また、評価内容は、評価を受けた職員へもフィードバックし、モチベーションの向上につなげている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事故報告、家族からの介護方法について意見が出た際には、スタッフと管理者が会議等で対話している。向上心を持って働ける環境づくりに努めている点が高く評価できます。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人外の研修に於いては、介護実践者研修の受講を積極的に勧めており、金銭面での支援を法人で行い、受講しやすい環境を作っている。前回評価以降も介護福祉士の受験、合格者も増えている。特定技能者への取り組みが課題。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	受講の金銭的な支援を行うことで受講しやすい環境を作ること人材を育てることにとっても必要な事だと思います。特定技能者への取り組みは国民性など技術とはまた違う教育も必要かと思われませんが、今後の取り組みに期待が寄せられます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近隣施設の運営推進会議に管理者が出席し、情報交換をしている。また、電話での情報交換もしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者様のニーズをしっかりと捉え、叶える手法を常に模索しながらニーズの実現につなげるよう動いている。また、職員は共同生活者として関わりを持つよう努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	対面での面会を再開しており、長年、会えていなかった方との対面もできるようになってきている。	本人の顔なじみの把握を行っている。入居前の丁寧な面談や本人の大切なことをこれからも確認をしていただきたいです。継続出来たら関係性を保てるよう取り組みます。それがグループホームなので。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴を改めて共有し、それに沿った取り組みだけでなく、施設内での日常の活動も含めて、ご利用者様と話しながら進めるよう努めている。施設外への外出により要望を取り入れている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者がケアプラン作成時などに、様子をお伝えすると共に、ご家族からの要望などを聞くようにし、ケアプランのサービス内容に反映するようにしている。	ケアプランの共有ができた後、スタッフの皆さまが計画を説明することができるか？出来るスタッフはいないに等しい。せめてリーダー(担当者)は自信を持って説明して欲しい。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	丁寧な聞き取りや入居前、入居時の本人らしさをこれからも確認をしていただきたい。ホーム内は話しやすい環境であると感じとれる事が多くあります。利用者本位のサービスが提供されていると感じます。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	Noticeという電子記録媒体を利用し、日常の発言や行動なども含めた記録を残すようにしている。また、カンファレンスの際には、実施したサービスに対して、ご利用者様の反応の良し悪しを共有するようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に合った支援をこれからもお願いします。ヒヤリハットやニヤリホットをあげていることで利用者様の様子をよく観察し共有していると感じます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々で出てきた、ニーズに対して応えられるように努めている。ご利用者様本人の状況や感染状況で実施できない面もあったが、柔軟な対応に努めている。	個別性ある計画、個別のレクや外出あり。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のボランティアなどの呼び込みは出来ず、自治会のイベント参加や他事業所との関わりも十分ではなく、地域資源の活用がまだまだ出ていない。	資源の把握ができていないと記述あるが、自治会や春光園の防災訓練の企画や参加ができています。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からのかかりつけ医との関係性もあるため受診継続の支援を行っている。ホームでの生活が落ち着いたところで往診医（長田在宅クリニック/長田忠大Dr.）への切り替えを行っている。家族と連携を図りながら受診の支援を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前に電話相談し受診からの入院や主治医の紹介状からの入院など対応して頂いている。また、入院の事案発生時にはワーカーとご家族様、管理者で情報共有を定期的に行うようにしていた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の低下により療養型施設へ転居される方もいたが、段階を経ていく中では、その都度ご家族様とお話をさせて頂き、状況の説明や意向の確認に行い終末期対応にも努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問診療や訪問看護などの連携が大切なので引き続きお願いします。看取り時、その人らしさを尊重していると感じました。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応は、研修や会議時に実践的に動きの確認をしている。また、事案発生時の連絡体制や連絡系統の共有を常に最新のものにし対応できるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月・10月に火災想定避難訓練は継続している。また、災害時（地震・風水害を想定）避難訓練も実施するようにし、非常時でも対応できるよう訓練を実施している。10月に包括、近隣施設の防災訓練に入居者と参加し関係性を築いている。	左記の記録通り、今後も続けていきたい。ご家族の協力（交流）も考えていきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできている。地域とも連携し施設内外での訓練の継続は十分できていると思います。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホームのNGワードがあり、ご利用者様の尊厳を守り配慮した関わりに努めている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	施設の認知症ケアについての研修体系などの報告もあり、認知症ケアを理解された管理者やエリアマネージャーによる指導体制をこれからも継続してもらいたい。一人1人のスタッフの観察は管理者が行えることではない。気が付いたら注意ができる職場づくりを行い質の高いサービスをお願いします。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常の過ごし方等は職員が決めるのではなく、ご利用者様と話をしたうえで決定するようにしている。また、個別での希望がある際には、別個に対応できるようホーム全体で共有し動ける様にしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事の際には、上げ膳据え膳にならぬよう、食事前に献立の話をしたり、盛り付けなどの準備を、ご利用者様と一緒にこなすようにしている。また、食事中にも職員と談話しながら食事をするよう心掛けている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	レクや外食などの報告では食生活や食べたいものをよく聞き取っていると感じます。食事の楽しみを味わう取り組みがみられる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常的に、食事、水分の摂取量を把握し、また、個別の趣向に合わせた提供を心掛けている。また、摂取量の傾向を把握し、摂取しやすい環境の設定をするようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの口腔ケアの習慣を把握し声掛けしながら実施している。また、ご本人の能力に合わせ職員がサポートするよう努めている。また、訪問歯科の甲府デンタルクリニックと連携し口腔ケアに関するアドバイスを受けている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	歯科衛生士などの指導をぜひ実践につなげ健康を保って欲しい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄記録をもとに、排泄パターンを把握しつつ、便秘傾向にある方には、日常的に水分摂取量が増えるよう支援し食物繊維の摂取が増えるよう提供するおやつ等を工夫している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄ケアについては一人一人違うので適した対応をお願いしたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入浴の希望があった際に、すぐには入れるよう、事前の準備をするようにしている。また、入浴する時間を把握し、一人ひとりの希望にそった入浴となるよう努めている。基本、入浴は毎日入れるようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの睡眠パターンを把握しつつ、入所前の生活パターンも可能な限り情報収集し、グループホームの生活に於いても、再現ができるよう努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	かかりつけ薬局である四つ葉薬局と連携し、週に1回のペースでご利用者様の情報共有をしながら服薬状況での注意点、副作用などアドバイスを受けながら、変化に気が付けるよう努めている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	特になし。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な、散歩やドライブなどの外出支援の実施。また、趣向に合わせて写真撮影や将棋、トランプ等できる環境作りに努めている。	本人の役割や大切なことを聞き出していただきたい。聞き出し方についても紹介をしてもらいたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩が日課となり、個人のペースに合わせて行っている。会話から希望の場所への外出を行い、自由に出掛けられる環境作りに努めている。	感染症もあるなかで外出の時間を大切にもらいたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日用品の購入など現状は職員側で行っている。ご利用者が金銭を使う機会はないが買い物支援など行っていきたい。(法人の決まりで、金銭の所持が出来ない)			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話など希望のある際には制限をせず使用して頂いている。また、携帯電話を所持している方に関しては充電が切れていないかどうか確認し、いつでも使用できるように努めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用部での生活において、動線上に危険がないかを確認し、それぞれが過ごしやすい、また、陽光があたる所にソファを配置するなどして、居心地よい環境にするよう努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	畑や庭にバターゴルフを作るなど、屋外でも楽しめる工夫されており、居心地のよい環境作りに努めていると感じます。一人一人に合った安心できる環境を作る工夫をされていると感じています。	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らしの意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様のしたい事など、要望を踏まえて日々の予定を考えているが支援できる方、出来ない方の偏りがある。意思表示が出来る方出来ない方が居るので、表情などから気持ちを汲み取れる職員育成が課題。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時、ご家族様より情報を頂き職員内でも共有し日々の関わりの中で活用するよう努めている。また、どんな話をしその反応がどうだったのかを記録に残し、可視化するようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に体調確認に努めている。異常発見時には早期対応ができるように、甲州訪問看護ステーション、各かかりつけ医、四つ葉薬局と連携を図るようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の治療や療養の意向は、入居前に状態からホーム判断で相談することを伝え訪問診療につなげている。訪問診療時、ご家族と確認し今後の方針等確認している。ACPなど状態や状況により動いている。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	施設の決まり事などはなるべく作らず、ご利用者様の生活ベースに職員が合わせるようにしている。職員は習慣化していただくことが継続出来ているのか確認をするように努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	それぞれの居室に入所前から使用していた物や、普段身に着けていた物、宗教的な物など、自由に持ち込んで頂いている。※刃物・火の出る物等は控えていただいている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	特になし。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	催事への参加は、希望あれば外泊かね行っている。本人からの希望はあまり聞かれない。	地域のイベントや様々なイベントごとが集まる仕組みが必要。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者それぞれの状況を、正確に把握し、その状況に合わせた生活と役割が持てるよう支援するべく普段の会話に耳を傾けているが、職員によって差があるのが課題。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者様それぞれが、誇りに思っている事、饒舌になる話題が何かを把握し、日々の会話の中で、話題として提供するようにしているが職員によって差が出るのが課題。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知機能の進行により意欲低下が心配されます。本人がやりたいこと、叶えたいことなどを日頃から聞き取るスタッフがいてくださるとありがたい。職員が背景や興味関心を深く持つことで満足感や安心感につなげることが出来ると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人からの希望はあまり聞かれないが、要望あれば積極的に対応していきたい。テニスが趣味の方の交流の場を作っている。	入居者が住んでいたエリアが増坪なのやそれ以外なのか、それを含め地域や外出の時間を作ってもらいたい。		
49	総合	本人は、このGHIにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活における希望や願いなど全てに応える事が現状は出来ないが、職員と関わりも持つ中で笑顔や安心感をもって頂けるよう努めている。まだまだ、課題はあるが笑顔で過ごすことが出来るよう関わっていききたい。	安心感と本人の叶えたいが一体となるように。叶えることはスタッフだけではなく、ボランティアやサポートする方々を作っていくことも視野にしては。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	安心感と本人の叶えたいが一体となるように、叶えることはスタッフだけではなく、ボランティアやサポートする方々を作っていくことも視野入れより良い日々が送れるようお願いします。入居者様がいかに楽しんで頂けるかをよく考えています。